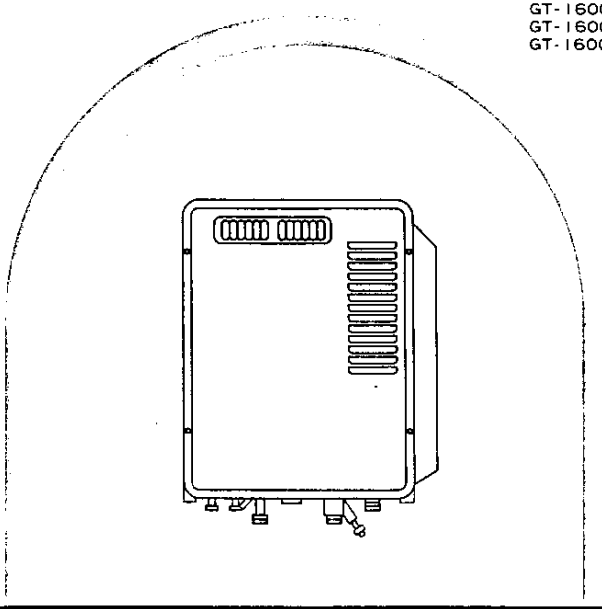
大阪ガス

ガス追焚機能付湯沸器
取扱説明書 31-272型 31-275型 31-273型 31-276型 31-274型

保証書付

型式名GT-1600WS
GT-1600WS-T
GT-1600WS-B
GT-1600WS-FF
GT-1600WS-FFB



ガス器具をお使いになるときのご注意

ガスゴム管も
ときどき点検
よいゴム管を
カッチリと

ガス器具を
お使いになった
あとは必ず
もとせんも閉
める習慣を

お風呂の空だき
水もれ、湯かしすぎ
にご注意

ガス器具は
ガスの種類にあった
正しいものを

●ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
なお、ご不明な点があればお買い求めの販売店にお問い合わせください。

ごあいさつ

このたびは、大阪ガスのガス追焚機能付湯沸器をお求めいただき、ありがとうございました。

別添の保証書とともに、この「取扱説明書」を大切に保管してください。

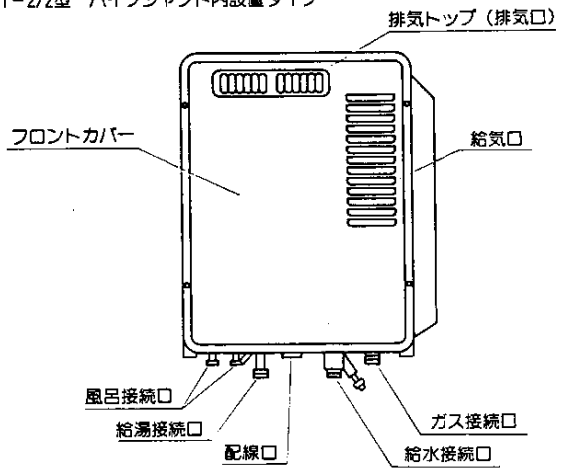
もくじ

- 各部の名称……2
- 特に注意していただきたいこと……7
- 器具の設置……10
- 使用手順……11
- 冬期の凍結による破損防止について……19
- 故障異常の見分け方と処置方法……22
- 日常の点検・手入れ……24
- 長期間使用しない場合……24
- アフターサービスのお申し込み……25
- 特　長……26
- 寸法図と仕様一覧表……26
- 本製品と快適なくらしのために……31

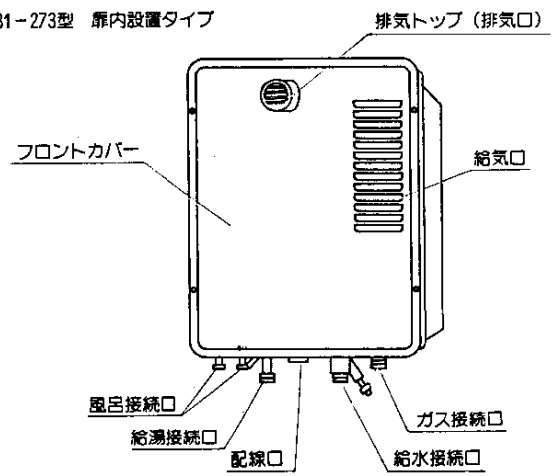
各部の名称

器具本体

31－272型　パイプシャフト内設置タイプ

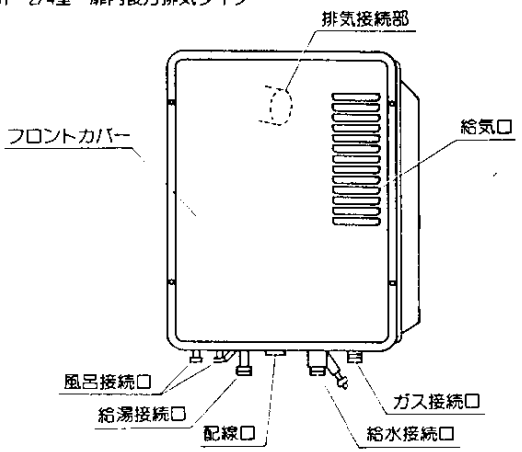


31－273型　扉内設置タイプ

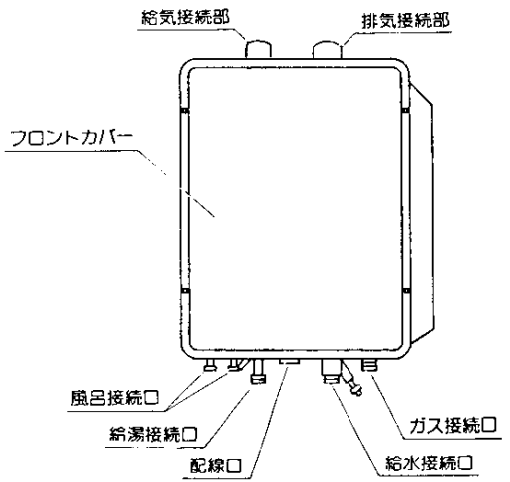


各部の名称②

31－274型　扉内後方排気タイプ

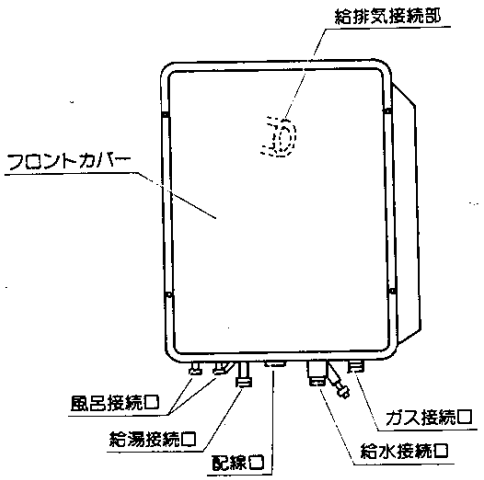


31－275型　屋内設置 上方給排気タイプ



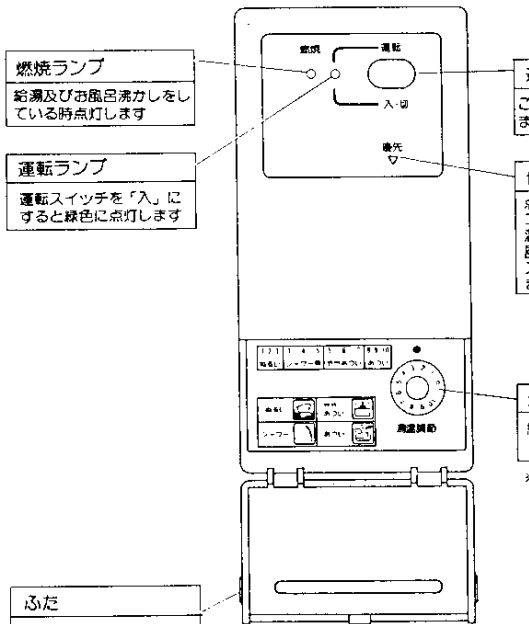
各部の名称③

31－276型　屋内設置 後方給排気タイプ



各部の名称④

メーンコントローラ



燃焼ランプ

給湯及びお風呂沸かしをしている時点灯します

運転ランプ

運転スイッチを「入」にすると緑色に点灯します

運転スイッチ

ご使用になる時「入」にします

優先ランプ

点灯しているときメーンコントローラで給湯の湯温調節ができます
風呂コントローラの優先スイッチで「入」・「切」します

湯温調節つまみ

給湯する時、湯温を調節します

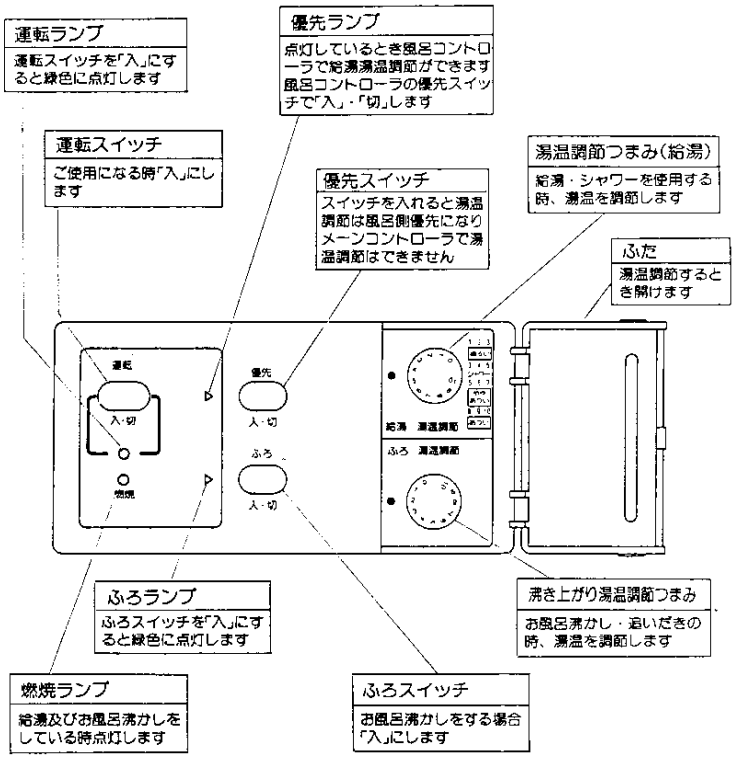
※優先ランプが点灯時のみ作動します。

ふた

湯温調節するとき開けます

各部の名称⑤

風呂コントローラ

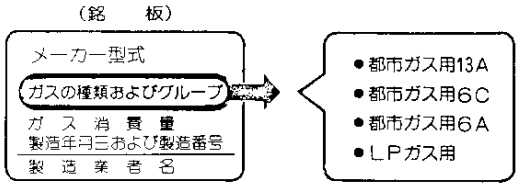


特に注意していただきたいこと

安全に正しくお使いいただくために、この項は必ずお読みください。

使用ガスについてのご注意

- ガスの種類を確かめてください。
  器具本体の前面にはってある銘板（ラベル）に表示してあるガスの種類およびガスグループ以外では使用しないでください。



- ガスの種類には都市ガスとＬＰガスとがあり、都市ガスにはガスグループの区分があります。
- 転宅されたときにも、供給ガスの種類と器具銘板のガスの種類の一致を必ず確かめてください。

使用電源についてのご注意

- 電源の電圧と周波数を確かめてください。
  この器具はＡＣ100Ｖ、60ヘルツ用です。お宅の電源の電圧と周波数が一致しているかお確かめください。

用途についてのご注意

- 給湯及びシャワー及び風呂の追焚き以外の用途には使用しないでください。
- 器具内に長時間たまっていた水は、飲用または調理用に用いないでください。

使用場所についてのご注意

- 壁その他の可燃物から十分離れている場所で使用してください。

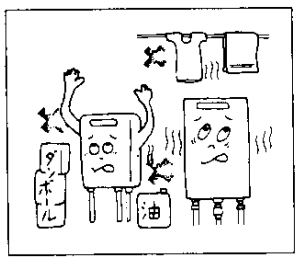
使用上のご注意

ガス漏れ予防

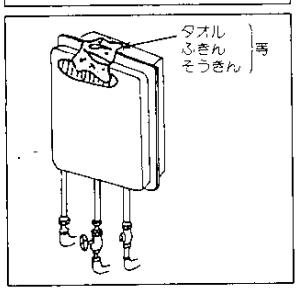
- お出かけや、おやすみになるときは、必ずガス元せんを閉じ、運転スイッチを「切」にしてください。
- 使用中にガスのにおいや、不快なにおいがしないかときどき確かめてください。

火災予防

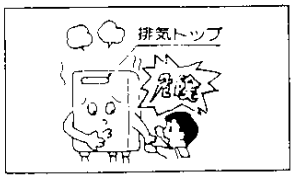
- 器具の上やそばに燃えやすいもの（紙、洗たく物、揮発油など）を絶対においたり近づけたりしないでください。



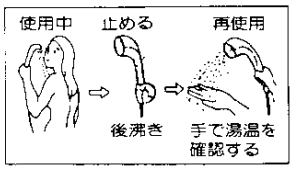
- 排気部や排気トップの上にタオル、ふきんなどをのせないでください。
  不完全燃焼や異常過熱の原因になります。
- 火をつけたまま就寝、外出は絶対にしないでください。



やけどのご注意

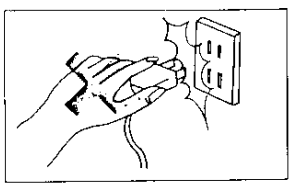


- ご使用中および使用後しばらくは、器具本体の排気トップや排気接続部とその周辺は熱くなりますので、手を触れたりしないでください。特に小さなお子様がいるご家庭はご注意ください。
  シャワーなど使用後すぐに再度お使いになるときは器具の後沸きによって一瞬熱い湯がでることがありますので、ご注意ください。



ガス事故防止

- ガス漏れに気づいたときは、ただちに使用を中止してガス元せんを閉じ、大阪ガス支社または大阪ガスサービスショップにご連絡ください。
  〔絶対に使用しないでください〕
- 万一ガスが漏れたときは、絶対に火をつけたり、換気扇その他電気器具に触れたり（スイッチの入、切や電源プラグの抜き差しなど）しないでください。



凍結についてのご注意

- この器具には、冬期の凍結による破損予防のために「凍結予防ヒータ」が内蔵されています。凍結予防ヒータが作動する可能性のある期間中は、緊急の場合以外には、電源プラグを抜かないでください。
- 厳寒期には、器具内の水が凍結し、破損事故が起こることがありますので器具内の水が凍るおそれのあるときは凍結を予防する処置を必ず行ってください。
  （詳しくは19～21ページの「冬期の凍結による破損防止について」の項にしたがって処置をしてください。）

凍結したとき

①器具や配管が破損しますと高額の修理費がかかります。（有料）
②凍結したままでは絶対に使用しないでください。
③再使用の場合は、凍結がとけた後全ての給湯せんから水が出ることを確認し、器具及び配管から水漏れがないことを確認後、11ページ「使用手順」の項以下の操作を行なってください。

特に注意していただきたいこと④　使用上のご注意

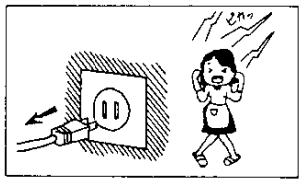
異常時の処置

- ご使用中にふだんと違った状態になったときや、不都合が生じたときはそのままお使いにならず、直ちにご使用を中止（器具せん、ガス元せん閉止）して十分な点検をお願いします。

〔故障異常の見分け方と処置方法については22ページをお読みください〕

雷雨時のご注意

- 近くで雷の音が聞えてきたときは、落雷時の電子部品の破損を防止するため、すみやかに電源プラグをコンセントから抜いてください。
  （電源コードが埋込まれている場合は、元のブレーカで切ってください。）
- 雷が遠ざかったことを確めてから、電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んでください。



日常の点検・手入れ

- 日常の点検、手入れをしてください。（詳しくは24ページをごらんください。）
- 故障又は破損したと思われるときは使用しないでください。
- このとき、ご自分で修理なさらずに大阪ガスサービスショップまたは大阪ガス支社にご連絡ください。

健浴剤や洗剤についてのご注意

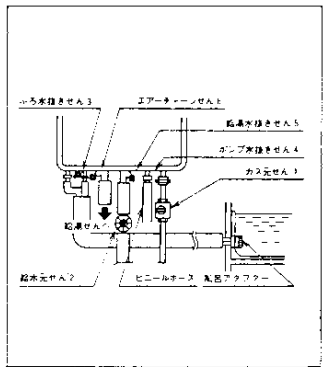
- 硫黄、酸、アルカリを含んだ健浴剤や洗剤は熱交換器が腐食する原因となるものがありますので、健浴剤等のご注意文を十分ご参照ください。

器具の設置

（詳しくは工事説明書をお読みください）

- 器具の設置は、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社に依頼してください。
- ご使用前に工事説明書通り正しく設置されていることを確認してください。

使用手順



■点火前の準備と確認

(1)給水元せん2を開き、すべての給湯せんから水の出てくることを確認してください。また、水抜きせん3 4 5、エアーチャージせん6が確実にしまっているか確認してください。

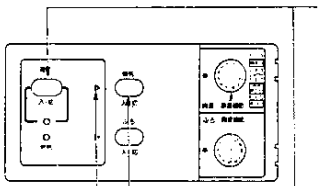
(2)ポンプ水抜きせん4に接続しているビニールホースを給湯水抜きせん5に接続し、ポンプ水抜きせん4及び給湯水抜きせん5を左に回してあけポンプに呼水を入れてください。（ふろ水抜きせん3をあけておき、ここから水が出るまで）その後ふろ水抜きせん3ポンプ水抜きせん4給湯水抜きせん5を右に回してしめてください。

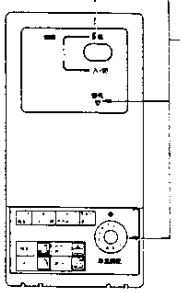
(3)ガス元せん1を開いてください。

(4)電源プラグをコンセントに差し込んでください。

使 用 手 順②

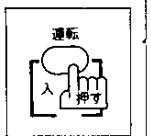
給湯・シャワーを使います。

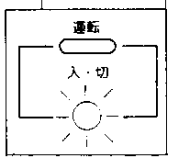




1 メーンコントローラまたは風呂コントローラの運転スイッチを押して「入」にします。

メーン、風呂コントローラどちらかの運転スイッチを押すと、両コントローラの運転ランプが点灯します。





2 湯温調節をします

〈メーンコントローラで湯温調節する時〉

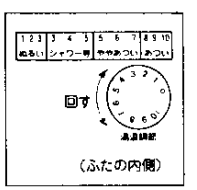
(1)メーンコントローラの優先ランプが点灯しているのを確かめます。

※メーンコントローラの優先ランプが消灯しているときは、メーンコントローラでの湯温調節はできません。
風呂コントローラの優先スイッチを押してメーンコントローラの優先ランプを点灯させてください。
(風呂コントローラの優先ランプは消灯します。)

(2)メーンコントローラのふたを開き、湯温調節つまみで湯温調節します。

【湯温設定のめやす】

1 ～ 3	37 ～ 39
3 ～ 5	39 ～ 42
5 ～ 7	42 ～ 47
8 ～ 10	52 ～ 75



使 用 手 順③

〈風呂コントローラで湯温調節する時〉

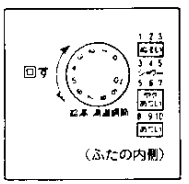
(1)風呂コントローラの優先ランプが点灯しているのを確かめます。

※風呂コントローラの優先ランプが消灯しているときは、風呂コントローラでの湯温調節はできません。
風呂コントローラの優先スイッチを押して風呂コントローラの優先ランプを点灯させてください。
(メーンコントローラの優先ランプは消灯します。)

(2)風呂コントローラのふたを開き、〈給湯　湯温調節〉つまみで湯温調節します。

【湯温設定のめやす】

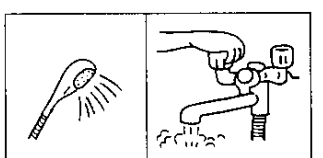
1 ～ 3	37 ～ 39
3 ～ 5	39 ～ 42
5 ～ 7	42 ～ 47
8 ～ 10	52 ～ 75



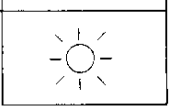
ご注意ください。

シャワーを使用のときは風呂コントローラで調節してください。
万一、浴室でシャワー等を使用中、メーンコントローラ側（台所）で設定した高温のお湯が出た場合など、非常に危険です。

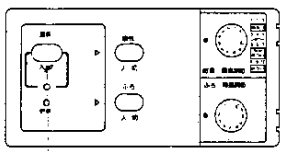
3 給湯せんを開くとお湯が出ます



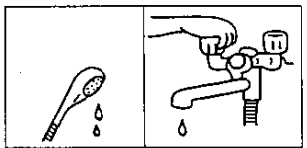
給湯を始めると燃焼ランプが点灯します。



使 用 手 順④



4 給湯せんを閉じ、湯を止めます



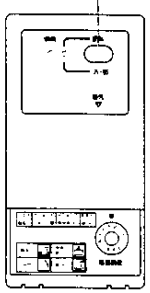
給湯を終了すると燃焼ランプが消灯します。

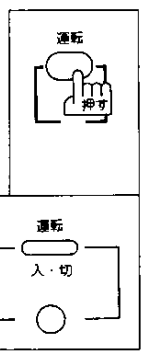
5 ご使用後は運転スイッチを押し「切」にします

メーンコントローラ、風呂コントローラどちらの運転スイッチでもかまいません。

※長時間ご使用にならない場合はガスの元コックも閉じてください。

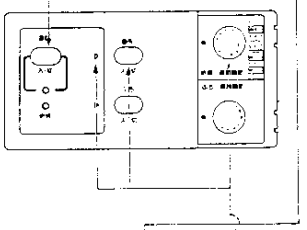
〈運転スイッチ〉を「切」にすると運転ランプが消灯します。





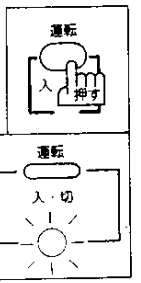
使 用 手 順⑤

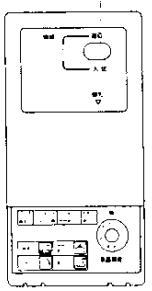
お風呂にお湯を入れます。



1 メーンコントローラまたは風呂コントローラの運転スイッチを押して「入」にします

メーン、風呂コントローラどちらかの運転スイッチを押すと、両コントローラの運転ランプが点灯します。





2 湯温調節をします

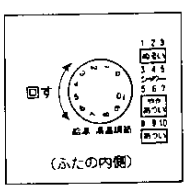
(1)風呂コントローラの優先ランプが点灯しているのを確かめます。

※風呂コントローラの優先ランプが消灯しているときは、風呂コントローラでの湯温調節はできません。
風呂コントローラの優先スイッチを押して風呂コントローラの優先ランプを点灯させてください。
（メーンコントローラの優先ランプは消灯します。）

(2)風呂コントローラのふたを開き、〈給湯 湯温調節〉つまみで湯温調節します。

【湯温設定のめやす】

1 ～ 3	37 ～ 39
3 ～ 5	39 ～ 42
5 ～ 7	42 ～ 47
8 ～ 10	52 ～ 75



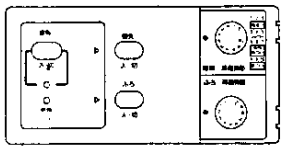
（ふたの内側）

ご注意ください。

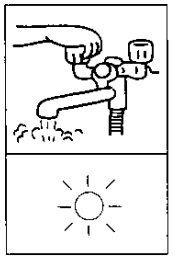
シャワーを使用のときは風呂コントローラで調節してください。

万一、浴室でシャワー等を使用中、メーンコントローラ側（台所）で設定した高温のお湯が出た場合など、非常に危険です。

使 用 手 順⑥

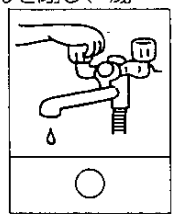


3 給湯せんを開くとお湯が出ます

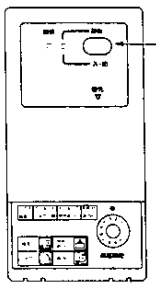


給湯を始めると燃焼ランプが点灯します

4 適量になれば給湯せんを閉じ、湯を止めます



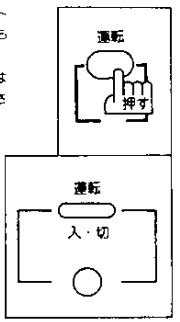
給湯を終了すると燃焼ランプが消灯します



5 ご使用後は運転スイッチを押し「切」にします

メーンコントローラ、風呂コントローラどちらの運転スイッチでもかまいません。

＊長時間ご使用にならない場合はガスの元コックも閉じてください。



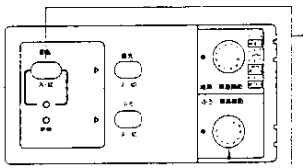
〈運転スイッチ〉を「切」にすると運転ランプが消灯します。

使 用 手 順⑦

お風呂を沸かします。追い焚きします。

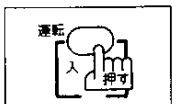
■お風呂を沸かす前に

1. 浴槽の排水せんを水漏れしないよう排水口にしっかりと差込んでください。
2. 浴槽に湯（又は水）を適量張ります。
   - このとき、湯（又は水）が風呂アダプターより5cm以上、上にあるようにしてください。
   - 給湯してから沸き上げる方が早く効率よく、沸かせます。
     水から沸き上げると時間がかかりますが、夏場、置き水をする場合などは、ムダなく沸き上げられます。

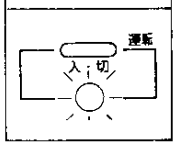


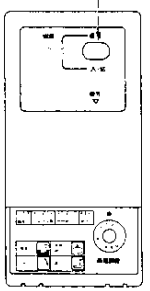
1 メーンコントローラまたは、風呂コントローラの運転スイッチを押して「入」にします

排水せんがきっちり閉まっていることを確かめてください。



メーン、風呂コントローラどちらかの運転スイッチを押すと、両コントローラの運転ランプが点灯します。

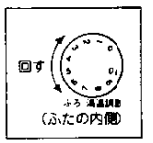




2 沸き上がり温度を設定します

風呂コントローラのふたを開くと〈ふろ　湯温調節〉つまみがあります。

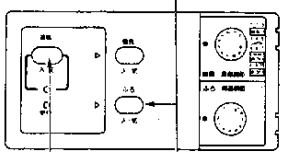
〈ふろ　湯温調節〉つまみを使って調節します。



【湯温設定のめやす】℃

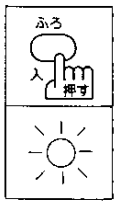
1 ～ 3	38 ～ 39
3 ～ 5	39 ～ 42
5 ～ 7	42 ～ 45
8 ～ 10	47 ～ 50

使用手順⑧



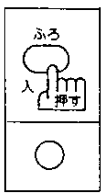
3 ふろスイッチを押し「入」にします

〈ふろランプ〉の緑色が点灯します。
追い焚きを開始すると〈燃焼ランプ〉が赤色に点灯します。



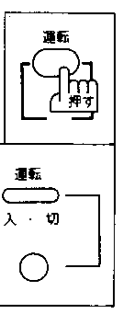
4 お湯が適温になれば、ふろスイッチを押し「切」にします

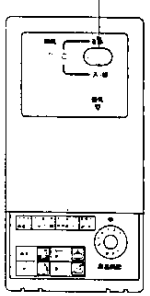
「切」にしない場合は、自動的に保温機能運転となります。
（保温機能運転は4時間継続します。）
追い焚きを終了するとふろランプが消灯します。



5 ご使用後は運転スイッチを押し「切」にします

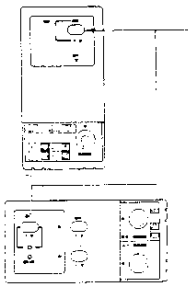
※長時間ご使用にならない場合はガスの元コックも閉じてください。
〈運転スイッチ〉を「切」にすると運転ランプが消灯します。





使用手順⑨

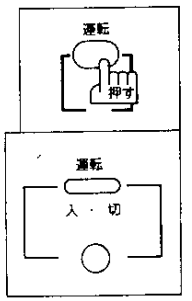
使用後について



1 ご使用後は運転スイッチを押し「切」にします

※メーンコントローラ、風呂コントローラどちらの運転スイッチでもかまいません。

〈運転スイッチ〉を「切」にすると運転ランプが消灯します。



停電後の使用方法

使用を中止し、運転スイッチを「切」にしてください。通電後、各々の操作をします。

長時間使用しない場合

長時間使用しない場合は、運転スイッチを「切」にし、ガスの元せんを閉めてください。

冬期の凍結による破損防止について

冬期は給水・給湯配管の水が凍結し破損事故が起ることがあります。このような事故を防止するため、次のような処置をお取りください。

凍結予防ヒーターと自動ポンプ運転による方法

- この器具は、外気温がさがってくると自動的に凍結予防ヒーターが器具内を保温し、追焚き部分の凍結を防止するためポンプが回りますが、異常ではありません。
- この装置は運転スイッチの「入」「切」に関係なく作動しますが、電源プラグを抜くと作動しなくなりますので、ご注意ください。又浴そうの残り湯がないと凍結防止効果が低下しますので、残り湯はすてないでください。

※配管部分の凍結まで防止できない場合がありますので、必ず保温材を巻きつけてください。

冬期の凍結による破損防止について②

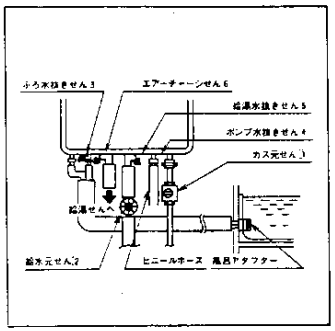
通水による方法

この場合は器具本体だけでなく、給水給湯配管、バルブ類の凍結も防止できます。ただし、浴そうへの追だき配管には効果がありませんので、追だき配管の露出部には保温材を巻きつけるかして十分に保温してください。

1．ガスの元せんをしめます。
2．運転スイッチを「切」にします。
3、給湯せんをあけ１分間に約200cc(牛乳ビン１本ぐらい)〔特に寒い日は多目に〕を流してください。
※流量が不安定なことがありますので、念のため30分ぐらい後にもう一度流量をご確認ください。

器具内の水を抜く方法

入居前や長期不在の場合は必ず行なってください。また外気温が極端に低くなる場合もこの方法をおとりください。
※ふろ側から先に水抜きを行なってください。

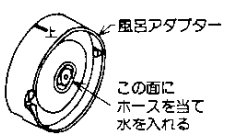


〔ふろ側〕
①浴そうの水を排水する。
②〈１階に浴室がある場合〉
風呂コントローラの運転スイッチを押す(運転ランプ点灯)、ふろスイッチを押して(ふろランプ点灯)、風呂アダプターより水が出ることを確認する。５分程度そのままにする。
〈２階に浴室がある場合〉
ふろ水抜きせん3を左に回してあけた後、ふろスイッチを押し、ふろ水抜きせん3より水が出てくることを確認する。
③排水の完了を確認後、運転スイッチを押し、運転ランプの消灯を確認する。
④ガス元せん1をしめる。
⑤ポンプ水抜きせん4をあける。

※ふろ側の水抜きを行なった後は浴そうに水を流しこまないでください。

冬期の凍結による破損防止について③

〔給湯側〕
⑥メーンコントローラの運転スイッチを「切」にし（運転ランプ消灯)、電源プラグを抜く。
⑦ガスの元せん1をしめてあるのを確認する。
⑧給水元せん2をしめる。
⑨すべての給湯せんを全開にする。
⑩給湯水抜きせん5を左に回してあける。
⑪エアーチャージせん6を左に回してあける。
●以上の操作で器具内の水は排水されますので、ポンプ水抜きせん4と給湯水抜きせん5より水が出てくることを確認し、次にお使いになるまでそのままにしておいてください。
●再使用する場合
※給湯側より先に行なってください。
〔給湯側〕
①給湯水抜きせん5、エアーチャージせん6およびすべての給湯せんをしめる。
②給水元せん2をあけてすべての給湯せんから水が出るのを確認する。
〔ふろ側〕（ポンプの呼び水の方法）
③ポンプ水抜きせん4に接続されているビニールホースの先端を給湯水抜きせん5に接続し、ポンプ水抜きせん4及び給湯水抜きせん5を左にまわしてポンプに水を入れる。(約600ccふろ水抜せん3から水が出るまで入れる。)
④ポンプ水抜きせん4、給湯水抜きせん5、ふろ水抜きせん3をしめる。
⑤浴そうに水を入れる。
⑥ガス元せん1をあけ、電源プラグをコンセントに差し込む。
⑦ふろスイッチを押すと、風呂アダプターより気泡が出た後、正常になり燃焼ランプが点灯する。（気泡が出てこない場合は、ポンプ水抜きせん4よりもう少し水を入れてから、ふろ運転スイッチを押す。）
※ビニールホースは使用後、給湯水抜きせん5からはずしておいてください。
●以上の操作を行なってからご使用ください。
●ポンプへの呼水の入れ方は次の方法でも可能です。
フィルターキャップとフィルターを取外し風呂アダプターの中心にホースを当て充分水を入れてください。（右図）



※現場施工の状態により、「凍結予防ヒーターと自動ポンプ運転による方法」や「器具内の水を抜く方法」では、配管部分の凍結まで防止できない場合がありますので、必ず保温材を巻くなどの処置をしてください。

故障異常の見分け方と処置方法

ご使用中にふだんと違った状態になったときや、不都合が生じたときは、そのままお使いにならず、直ちにご使用を中止して十分な点検をお願いします。

次のような場合は故障ではありません

❶最低作動水量について

この器具は、器具内の通水量が最低作動水量（4ℓ/分）以下になったときは点火しませんので、故障とお間違いのないように、ご注意ください。

❷同時給湯について

2個所同時にお湯を使用するときに、給湯配管の方法、給湯せんの開きぐあいによって、それぞれの給湯せんのお湯の量が異なることがあります。特に湯洗器から遠い場所、高い位置の給湯せんでは、お湯の出ない場合もあります。また、シャワーをご使用中に、他の給湯せんを同時使用しますと湯温や湯量が変動しますので、ご注意ください。

❸排気トップからの白い煙について

冬期(外気温が低いとき)には、排気ガス中の水分が水蒸気に変わるために排気トップから白い煙が出ることがあります。

これは、人のはく息が白くなるのと同じ現象ですので、何ら心配はありません。

現象 / 原因	点火しない：運転ランプが点灯しない	点火しない：燃焼ランプが点灯しない	点火しない：燃焼ランプが点滅する	使用中に消火する	炎が安定しない	黄火で燃える	高温のお湯が出ない	低温のお湯が出ない	煙突の抜きあがりが遅い	処置方法	参照ページ
ガス元せんの開き忘れ			○							ガス元せんを全開にする	
ガス元せんの開き不足			○	○			○		○	ガス元せんを全開にする	
ガス圧が適切でない			○	○	○	○	○			＊	
電源プラグが抜けている	○			○						コンセントにしっかり差し込む	
漏電安全装置の作動	○									電源プラグをコンセントから抜く再度入れる。又は元のブレーカを切り再度入れる。	23
停電している	○			○						使用を一たん中止する	
安全装置の作動			○	○						＊	
バーナー炎口づまり			○		○	○				＊	
出湯量が多すぎる							○			給湯せんを少し絞る	
湯温調節機能を切替えていない							○	○		湯温調節をおこなう	12
給水元せんの開き不足		○								給水元せんを全開で使う	
給水元せんの開き忘れ		○								給水元せんを全開で使う	
湯温調節が適切でない							○	○		湯温調節をおこなう	12
ふろ循環ポンプの呼水不足		○							○	ポンプに呼び水をする	21
浴そうフィルターのつまり		○		○					○	フィルターのそうじをする	24

なお＊印のもの、処置や原因のわからないときは、ただちにお買い求めの販売店、または大阪ガス支社へご連絡ください。

故障・異常の見分け方と処置方法 ②

安全装置が作動したときの処置方法

■バーナー安全装置

- 使用中に万一、バーナーの炎が消えても、安全装置が働いて自動的にガスが止まり燃焼ランプが点滅します。
- 給湯せんを閉めてから運転スイッチをいったん「切」にし、しばらく待ってから再度「入」にしてください。

■過熱防止装置（温度ヒューズ）

- 使用中器具内の温度が異常に上昇したときは、安全装置が働いて自動的にガスが止まります。

■残火安全装置(ハイリミットスイッチ)

- 万一、熱交換器内が空焚状態、または異常温度となった場合に作動し、自動的にガスが止まります。
- この装置が働くと器具の診断が必要です。ガス元せんを閉め、メーンコントローラの運転スイッチを切ってからお近くの大阪ガスサービスショップもしくは大阪ガス支社へご連絡ください。
- 燃焼ランプが点滅している時は、いったん運転スイッチを「切」にして、しばらくしてから「入」にしてください。
- 再び燃焼ランプが点滅する場合は運転スイッチを「切」にしてからガス元せんを閉め、お近くの大阪ガスサービスショップ、もしくは大阪ガス支社へご連絡ください。

■漏電安全装置

- 使用中に器具に異常が生じ、漏電安全装置が働くと、運転ランプ及び燃焼ランプが消えます。このとき電源プラグをいったん抜き、再度「入」にしてください。
  またこの装置が頻繁に作動する場合は器具の点検が必要です。

日常の点検・手入れ

点検・手入れの際のご注意

①器具を安全、快適に、ご使用いただくために日常の点検・手入れを必ず行なってください。
②点検・手入れの前には必ずガス元せんを閉じ、運転スイッチを「切」にして器具が冷えてから行なってください。
③フロントカバーなどは、外さないでください。

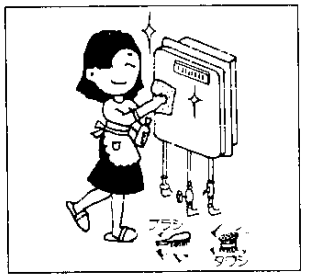
点　検

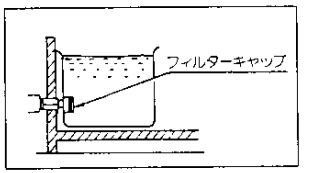
- 器具の上や近くに紙、プラスチック、油類など燃えやすいものをおいていませんか？
- 排気トップ（排気口）や給気口をふさいでいませんか？

お 手 入 れ

①外装の掃除
やわらかい布に中性洗剤を付けて、軽く拭いてください。
（タワシやブラシなどでこすらないよう注意してください。）
②風呂アダプターのフィルター掃除
浴そう内のフィルターキャップを外し、内部のフィルターを月に1回程度掃除してください。

フィルターキャップは「上」とマークのある方を上にして取り付けてください。





長期間使用しない場合

長期間に渡って使用しない場合は、器具の水抜きを行なってください。
（器具の中の水を抜く方法については20～21ページをお読みください）

アフターサービスのお申し込み

サービスのお申し込み

- 22ページ「故障異常の見分け方と処置方法」の項を見て、もう一度ご確認ください。
- 確認のうえ、それでも不具合な場合、あるいはご不明な場合はご自分で修理なさらないでお買い上げの店またはもよりの大阪ガスサービスショップ、もしくは大阪ガス支社にご連絡ください。なお、ご連絡いただくときは、次のことをお知らせください。

① 品　名……ガス追焚機能付湯沸器
② 品　番……器具の正面下側に貼付してあります。

（例）

(4) 31-272 (U)
大阪ガス株式会社 08

③ 現　象……できるだけ詳しく
④ 道　順……できるだけ詳しく

転居される場合

- ガスの種類には、都市ガスとLPガスとがあり、都市ガスにはガスグループの区分があります。
ガスの種類、ガスグループの区分が異なる地域へ転居される場合は、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類、ガスグループの区分を確認のうえ、大阪ガスサービスショップまたは大阪ガス支社にご相談ください。
この場合調整・改造に要する費用は保証期間内でも有料となります。

保証について

- この器具には保証書がついています。
このガス追焚機能付湯沸器は保証書に記載のように、器具の故障について修理いたします。詳しくは保証書をごらんください。
保証書を紛失されますと、無料修理期間内であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。

特　長

1 薄型コンパクトなセットフリータイプで浴室と器具の設置が自由に選べます。又強制追焚機能付きで、風呂効率平均70%以上の高効率を発揮、湯温は設定温度で自動ストップし沸かしすぎもありません。

2 この湯沸器は、1台で数ヶ所に給湯できるセントラルタイプですので、取付けた所だけでなくはなれた所でも、給湯せんを操作するだけでお湯が使えます。

3 使用目的によって3号から16号までの能力切替えが可能です。同一設定温度で出湯量を変えても適量適温のお湯をお使いいただけます。（ただし給湯能力の範囲内）

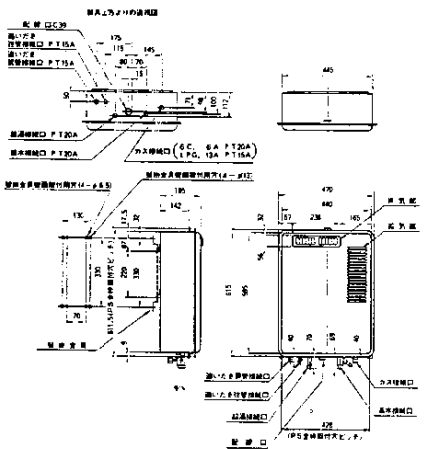
4 高密度燃焼により熱効率76%以上に維持し、しかもお湯の必要なときだけ点火するダイレクト点火方式でガスのムダを省きました。

5 操作はメーンコントローラの運転スイッチを入れるだけ、あとは給湯せんをひねるだけでお湯がご使用になれます。

6 静音設計のため、夜間でも隣近所に気がねなく使用できます。

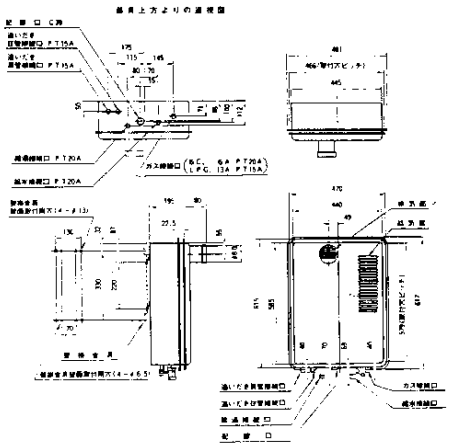
寸法図と仕様一覧表

●器具本体（31－272型）パイプシャフト内設置タイプ

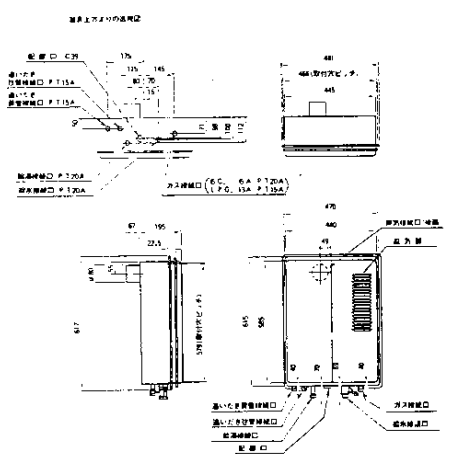


寸法図と仕様一覧表②

●器具本体（31－273型）扉内設置タイプ

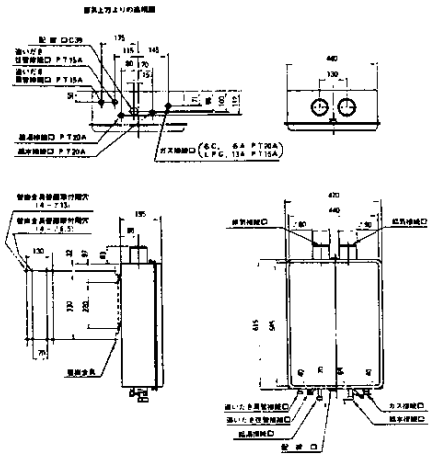


●器具本体（31－274型）扉内後方排気タイプ

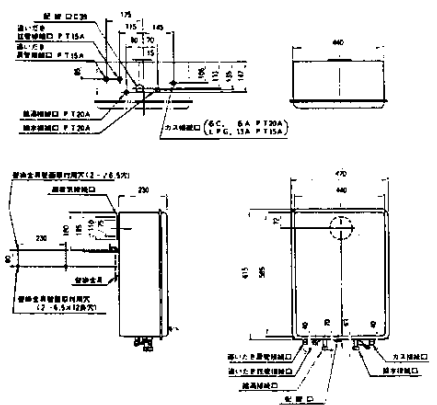


寸法図と仕様一覧表③

●器具本体（31－275型）屋内設置 上方給排気タイプ

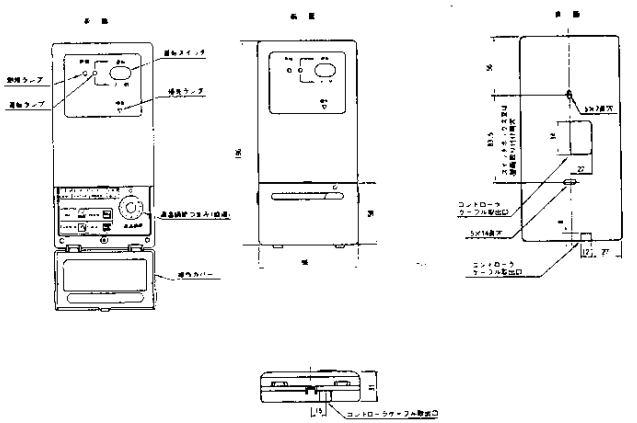


●器具本体（31－276型）屋内設置 後方給排気タイプ

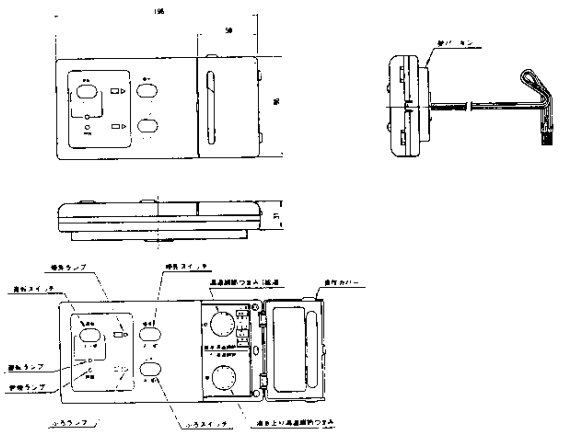


寸法図と仕様一覧表④

●メーンコントローラ



●風呂コントローラ



寸法図と仕様一覧表⑤

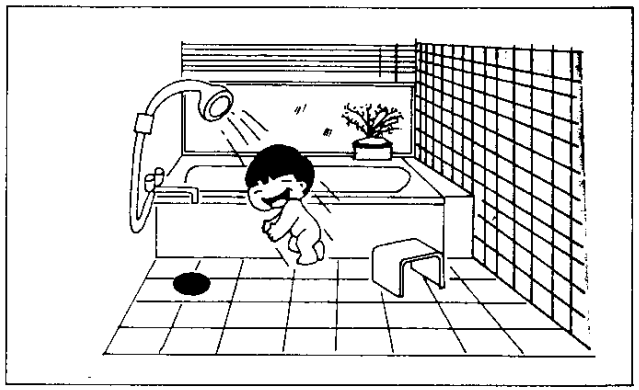
仕 様 一 覧 表

項目＼種別		31－272、31－273、31－274、31－275、31－276型			
		都市ガス6C	都市ガス13A	都市ガス6A	LPガス
ガス消費量 (Kcal/h)	給湯	30500	30500	30500	2.54kg／h
	風呂	14500	14500	14000	1.25kg／h
外形寸法 (mm)		高さ615×幅470×奥行195			
重量 (kg)		31			
接続	ガス	20A(PT¾)	15A(PT½)	20A(PT¾)	15A(PT½)
	給水	20A(PT¾)			
	給湯	20A(PT¾)			
	風呂入水	15A(PT½)			
	風呂出湯	15A(PT½)			
	電気	AC100V、60Hz			
電気消費量 (W)		31－272～274、276 190 31－275 185 (凍結予防ヒーターは116)			
点火方式		連続スパークによるダイレクト点火			
最低作動水圧(kg/cm²)		0.2			
最低作動水量(ℓ/分)		4			
安全装置		バーナー安全装置、過熱防止装置 残火安全装置、凍結予防ヒーター＋自動ポンプ運転 過圧逃し弁、空だき防止装置、漏電安全装置			
日水協認可登録番号		A－3273			

出湯能力 〔能力最大〕 (ℓ／分)			
ガス種別＼上昇温度		水温＋25℃上昇	水温＋40℃上昇
都市ガス	6C	(16.5)	10.3
	13A	(16.5)	10.3
	6A	(16.5)	10.3
LPガス		(16.5)	10.3

※（　）内の出湯能力は計算値です。

本製品と快適なくらしのために



年中、快適に風呂給湯と、追い焚き、シャワー、上り湯が使用できます。
又、洗面化粧台、流し台へも給湯できます。

お ね が い

ガスこんろなど、他機器のガス栓を開けるときは、
必ず全ての水栓を閉めてから、ガス栓を開けてください。
詳しくは、ガスショップでご聞きください。

本社ガスビルサービスセンター・支社所在地および電話番号

本社ガスビルサービスセンター	〒541	大阪市東区平野町５丁目１	☎大　阪 06 (202) 2221
南　支　社	〒557	大阪市西成区玉出東２丁目９番41号	☎大　阪 06 (652) 0001
北　支　社	〒532	大阪市淀川区十三本町3丁目6番35号	☎大　阪 06 (301) 1251
堺　支　社	〒590	堺市住吉橋町２丁２番19号	☎　堺　0722(38) 1131
北摂支社	〒569	高槻市真の里３９－６	☎高　槻 0726(71) 0361
阪神支社	〒662	西宮市和上町４番11号	☎西　宮 0798(26) 3101
東部支社	〒578	東大阪市稲葉２丁目３番17号	☎河　内 0729(62) 1131
京阪支社	〒573	枚方市西田宮町16番17号	☎枚　方 0720(41) 1251
神戸支社	〒650	神戸市中央区相生町5丁目13番10号	☎神　戸 078(576) 5231
京都支社	〒604	京都市中京区烏丸通池坊屋町３５８	☎京　都 075(231) 8151
奈良支社	〒631	奈良市学園北２丁目４番１号	☎奈　良 0742(44) 1111
和歌山支社	〒640	和歌山市本町１丁目１	☎和歌山 0734(31) 2481
姫路支社	〒670	姫路市神屋町４丁目８	☎姫　路 0792(85) 2221
東播支社	〒675	加古川市加古川町粟津２９の１	☎加古川 0794(21) 1801
豊岡支社	〒668	豊岡市三坂町６丁目57番地	☎豊　岡 07962(3) 2221
湖南支社	〒525	草津市追分町字荒堀６８０の１	☎草　津 0775(62) 5311
彦根支社	〒522	彦根市大東町12番11号	☎彦　根 0749(22) 3131
(長浜営業所	〒526	長浜市南呉服町３番４号	☎長　浜 0749(62) 7171)

その他当社サービスステーション、およびサービスショップ、風呂販売店

大阪ガス株式会社